

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 28 日

評価対象事業	評価者	生活福祉課長	田中 良一
健福-10 戦傷病者戦没者遺族等援護事業	■ 自治事務 ■ 法定受託事務	主管課 関連課	生活福祉課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針
			地域生活の支援サービス

1 事業の目的

対象	戦没者の遺族、原子爆弾被爆者及び市民
意図	戦没者の追悼、原子爆弾被爆者に対する援護を通じ、平和を祈念するため。
効果	対象者の生活の援護や安定を目指し、福祉の増進を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・戦没者の追悼式典を遺族等と行った。 ・鎌倉市遺族会へ補助金を交付した。 ・鎌倉市被爆者の会へ補助金を交付した。 ・本市の援護資格者として認定を受けた市民に対して、援護手当を支給した。 ・戦没者等の遺族への給付金等請求受付事務等を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人口等のデータ			人口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳) 被爆者援護手当 支給人数
世帯数	80,368世帯	80,676世帯	世帯数	80,928世帯	
事業の対象者数	146人	132人	事業の対象者数	145人	
運営資源状況			当初予算(千円)	4,256	
決算値(千円)	4,138	5,471	国県支出金	55	
国県支出金	70	172	地方債	0	
地方債	0	0	その他	0	
その他	0	0	一般財源	4,201	
一般財源	4,068	5,299	人員配置数	0.4	
人員配置数	0.4	0.4	人件費(千円)	3,103	
人件費(千円)	3,010	3,074	総事業費(千円)	7,359	
総事業費(千円)	7,148	8,545	市民1人当りの経費(円)	42	
市民1人当りの経費(円)	40	48	対象者1人当りの経費(円)	50,752	
対象者1人当りの経費(円)	48,959	64,735			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 戦没者等遺族及び原爆被爆者については、高齢化が進んでいるため、遺族会や被爆者の会が高齢者の会員家族の訪問や相談活動等を行い、福祉の向上に寄与しており、補助金の減額は諸活動に支障をきたすと思われる。 また、被爆者手当については、現在132名に支給しているが、80歳以上が6割を占めており、手当の廃止は生活への影響が大きいと思われる。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	市として戦没者に弔意を示し、恒久平和を次世代につなげていくため、今後も事業を継続して実施する。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	平成27年4月から3か年にわたり、戦没者等遺族に対する特別弔慰金の受付業務が開始となっている。市内で約1,000件の申請が見込まれ、かつ、1件あたりの受付時間が長くなるため、円滑な対応を検討する。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	提出書類をリスト化した紙を作成し、申請手続きの説明の際に、申請者に渡すようにした。	☒ 解決 ☐ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	特になし	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	上段:戦没者追悼式参加者数(H27) 下段:記念品(参加者全員)単価								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	169人	211人	135人	×	×	×		×	95人
	865円	323円	733円						

比較事項	被爆者援護手当の支給(市単)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	×	×	×		×	○
	2,000円/月	3,000円/月+ 年未5,000円	12,000円/年						5,000円/年

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	戦没者追悼式記念品(参加者全員)についての見直しを検討されており、近隣各市町と比較すると、やや単価が高めである。 また、被爆者援護手当についても、市単位の支給を実施している自治体は少ないが、福祉の充実という観点から、本市ではこれまで継続している。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☒ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--